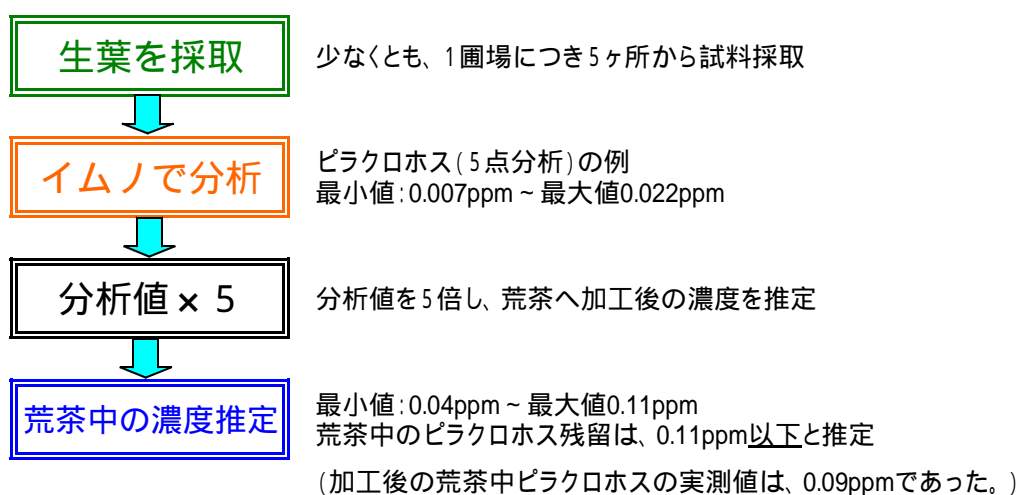


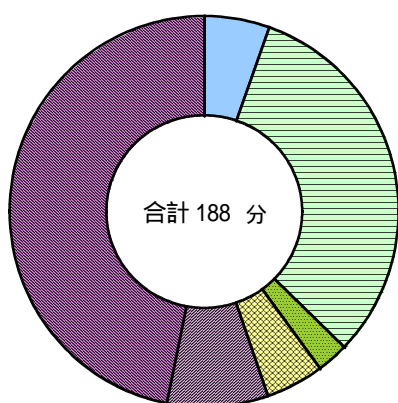
# 市販イムノアッセイキットによる、茶生産の重要管理点（農薬残留）モニタリング

イムノアッセイ法による、茶生産における重要管理点（残留農薬）のモニタリング手法を確立するため、市販のイムノアッセイキット[アセタミプリド（商品名：モスピラン、チャノアザミマ等対象）、クロルフェナピル（商品名：コテツ、チャノアザミマ・カザワタニ等対象）、イプロジオン（商品名：ロブラール、灰色かび病等対象）、クロロタロニル（商品名：ダコニール、炭疽病等対象）] 4種類で検討しました。1回に5検体程の残留農薬モニタリングであれば、圃場から生葉を採取し、荒茶加工前の3時間で分析結果を出せます。

荒茶加工前の生葉により荒茶中の最大残留農薬値を推定でき、イムノアッセイ法による、茶生産の重要管理点（残留農薬）のモニタリングが可能です。



生葉の分析値による荒茶中残留農薬（ピラクロホスの例）濃度推定



イムノアッセイ法による残留農薬（クロルフェナピルの例）モニタリングに要する時間